養護教諭中堅教諭等資質向上研修

「研修概要説明」

県立総合教育センター
教育経営研修班　大城　めぐみ

中堅教諭等資質向上研修とは

（令和2年度より「養護教諭中堅教諭等資質向上研修」へ名称を変更）

教育公務員特例法

第四章　研修

（中堅教諭等資質向上研修）

第二十四条　公立の小学校等の教諭等（臨時的に任用された者その他の政令で定める者を除く。以下この項において同じ。）の任命権者は、当該教諭等に対して、個々の能力、適性等に応じて、公立の小学校等における教育に関し相当の経験を有し、その教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図るために必要な事項に関する研修（以下「中堅教諭等資質向上研修」という。）を実施しなければならない。

【目的】

養護教諭中堅教諭等資質向上研修は、本県公立学校における健康教育や養護全般に関し相当の経験を有し、その教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅養護教諭の資質の向上を図る。

【対象】

教職経験10年目の公立小・中学校及び県立学校の養護教諭とする。経験年数については別に定める。

注）1年以上の病休、育休は教職経験年数から減算される。

実施要領 p1、5

【研修内容】

研修内容
- (1) 校内研修（５日間程度）
- (2) 特定課題研究
- (3) 校外研修（10日間程度）
  - 県立総合教育センター（７日間）
    - 県立（高校・特別支援学校）県立総合教育センター７日間
    - 義務（小学校・中学校）県立総合教育センター５日間 各教育事務所２日間程度
  - 社会体験研修（３日間）

養護教諭中堅研に関する連絡等は、公文、事務連絡及び「R5養護中堅研Teams」をご確認下さい。
※5月25日(木)はOpenアカウントとパスワードをご持参ください。

小・中学校は、管轄教育事務所での研修が２日間あります。

特定課題研究について

実施要領 p3
様式4と様式5

特定課題研究は、児童生徒の心身の健康づくり・学校保健の課題解決を目指した「組織的な取組」に関する内容とする。

【課題の範囲】

養護教諭の視点で疑問や困難さを感じているもの

- これまでの経験から解決が困難・疑問を持った内容
- 地域性からくる課題や県・全国共通の健康課題
- 学校保健に関する法律、答申などを受けて取り組む課題
- 文献を元に実践効果を検証したい課題　など

【テーマ設定時の考慮点】

- 実行可能であるか
- 小さくても前進していくものか
- 自分の学校のオリジナリティはあるか
- みんなにも役立てそうか
- 本当にやりたい研究か

第2回　5月25日（木）の研修にて、テーマ検討会を行います。

校内研修について

実施要領 p1～3

①p1～3を参考に研修計画書を作成し、研修を実施する。

→5日間のうち1日は「特定課題研究報告会」を実施

・パワーポイントにまとめ10～15分位で報告する。

・学校長または教頭のどちらかには
　参加してもらい、コメントをもらう。

②校内研修計画を立てるにあたって

・得意分野をさらに高める

・苦手分野にチャレンジする。

・「組織的な取組」とする

【育成指標の学校保健推進力】

→中心的な役割を果たす「発展ステージ」

回	月日	曜日	研修内容	形式	領域・研修項目						
				講話 演習 授業 協議 発表 その他	1 保健管理	2 保健教育	3 健康相談	4 保健室経営	5 保健組織活動	6 特定課題研究	その他
1			校内研修における心肺蘇生法及びAED講習会の実施 ※中堅養護教諭が実技指導を行う	演習	(3) ①						
2			特別活動における学級担任とのTTによる保健教育（4学年）	授業		(1) ①					
3			校内支援体制の整備 （健康相談と教育相談の関連性）	協議			(2) ②				
4			児童の健康課題解決を踏まえた学校保健委員会の工夫 （保健主事と連携）	協議					(1) ①		
5			特定課題研究成果報告会	発表		(1) ① ③		(2) ①		(1) ①	

校内研修記録簿の書き方について　様式3②

領域、研修項目、形式は、計画書及び２頁の表－１にあるとおり記載。

研修内容は、計画書のとおり記載。

※学校保健の課題解決や養護教諭自らの強みや課題を踏まえた資質向上の視点から簡潔に記載。

（様式３②）

令和５年度　養護教諭中堅教諭等資質向上研修　校内研修報告書

学校名　センター小学校　養護教諭氏名　大城めぐみ

領域 研修項目	【１保健管理】 「（３）救急体制の充実　①救急処置の医学的知識と技術」		
形式	演習	対応者※	指導者：大城（養護）、金城（安全） 参加者：全職員
日時	令和５年６月９日　月曜日 15時30分～16時30分	研修場所	本校体育館

１　研修内容

（学校保健の課題解決や養護教諭自らの強みや課題を踏まえた資質向上の視点から簡潔に記載）

（１）校内研修における心肺蘇生法及びAED講習会の実施
（中堅養護教諭が安全主任と協力して、企画・運営・指導を行う。）
①目的：今年度の本校の救急体制、心肺蘇生法及びAEDの使い方について、全職員で共通理解するとともに、技術を習得する。
②役割分担：ア　養護　当日の指導
イ　安全主任　開催案内、講習人形を消防から借用、実施後アンケート（Foams）
③実施前：ア　安全主任と事前打ち合わせ（５月２日）
イ　指導内容の計画（本校の昨年度のケガや、ヒヤリハット事例を踏まえた内容）
④実施：クイズと動画を用いて指導・演習を行った。
⑤実施後：アンケートを安全主任と確認した。職員からは、本校の事例や、校舎、遊具を踏まえた演習だったため、技術の習得だけではなく、児童への安全指導にも生かせる内容だったとの感想が見られた。

２　感想、実践したこと・今後の取組

【感想】
例年より準備に時間がかかったが、「本校の実態を研修に取り入れる」という工夫は、救急法講習のみならず、児童の健康教育に繋がると感じた。
【実践したこと・今後の取組】
これまでも救急法講習においては、本校の救急体制を全職員で確認する貴重な場で、研修講師を務めてきた。しかし、昨年度までは一般的な実技講習が主で、本校にはなっていなかったため、中堅研の校内研をいい機会と捉え、本校に特化した内容に昨年度の保健室来室の集計や、児童のケガで気になった場所、救急体制で不安に思ったこクイズ形式にまとめて講習を行うといった工夫を行った。
参加した職員からは、「本校の実態を踏まえた内容で危機感を持って講習できた」「児童全指導にも活用できる。クイズのパワーポイントを共有して欲しい。」などの感想があった。本校の実態を踏まえた演習は効果が高いと感じた。今後は、保健・安全委員会児童でケガマップを作成させ、安全委員会で安全指導資料を、保健委員会でケガが起きたときの対処資料を作成し、委員会発表を行う等、児童も含めて保健安全を考えていきたい。

対応者は、研修に参加した者、一緒に授業や協議等を行った者を記載。

【感想】は、実践してみて思ったこと、感じたことを記入する。
【実践したこと・今後の取組】は、今回の実践における工夫点、良かった点、課題点、今後の取組に生かす視点で記載。

特定課題研究と校内研修の関連付け

【特定課題研究】児童生徒の心身の健康づくり・学
解決を目指した「組織的な取組」

（例 率が高い
→ 方を習得させる。また、歯み

道→学級担任とTTで行う。
TT実施の打ち合わせ、授業実践など）
の実施　※毎月1回、1週間
成、保健部会で企画提案・実施・評価）

保健部会で企画提案・実施・評価などの保健組織活動
得意な方→保健部会等で他の教職員に指導・助言をしながら実施
苦手な方→保健主事等に助言をいただきながら実践

授業実践などの保健教育
得意な方→他の教職員に指導・助言をしながら実施
苦手な方→TTに助言をいただきながら実践

【特定課題研究】・様式5

（実践結果は、児童生徒の健康課題の改善や学校保健の課題改善ができたかを記載）

【校内研修】・様式3②

（実践者としての感想、実践したこと・今後の取組を記載）

得意↑、苦手↓、育成指標↑

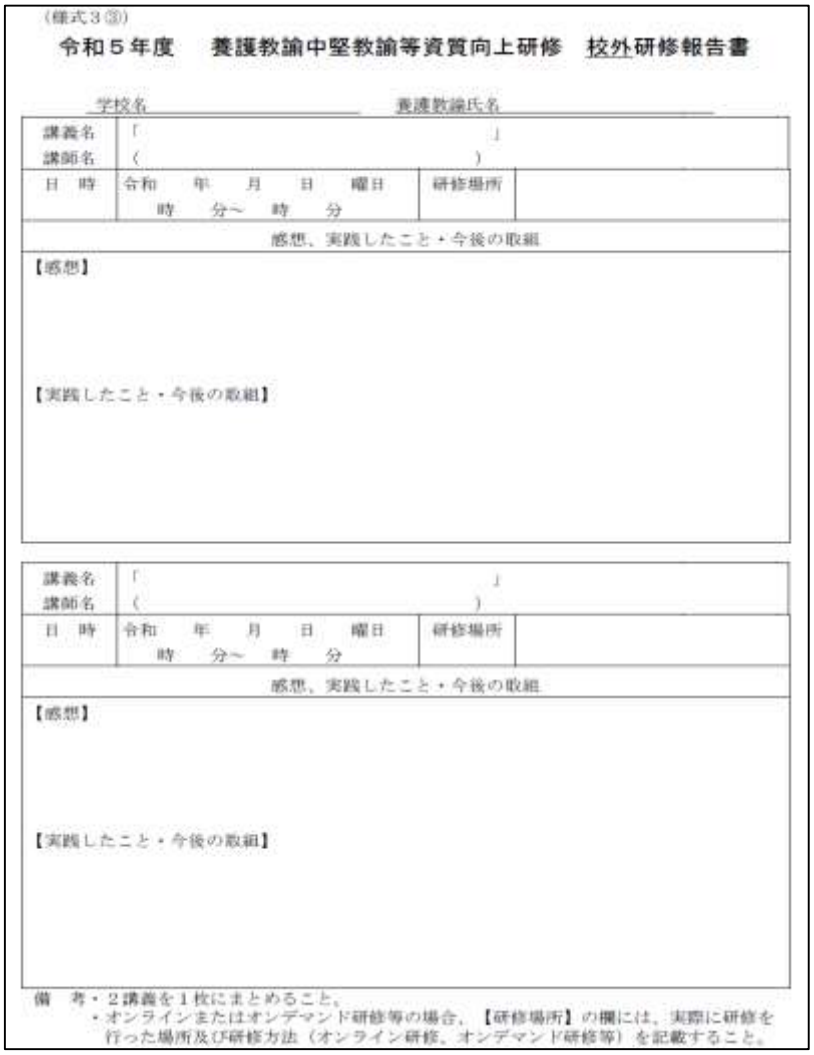
校外研修について（全10回）

実施要領 p7

回	期日	対象	場所	領域
第1回	5月8日（月）	県立	教育センター	基礎
	4～5月	小中	各教育事務所	基礎
	5月10日（水）～12日（金）	小中	各学校	基礎 （オンデマンド研修）
第2回	5月25日(木)	全員	教育センター	専門（課題研究） 基礎
第3回	5月26日(金)	全員	おきなわクリニカル シミュレーションセンター	専門
第4回	5～10月	小中	各教育事務所	基礎
	7月3日(月)	県立	教育センター	基礎・専門
第5回	7月26日(水)	全員	教育センター	基礎・専門
第6回	7月27日(木)	全員	教育センター	基礎・専門
第7回	7月28日(金)	全員	教育センター	専門
第8～10回	8月2日(水)～4日（金）	全員	企業等	社会体験研修

校外研修記録簿の書き方について

特定課題研究、校内研修及び校外研修の関連付け



（様式３③）

令和５年度　養護教諭中堅教諭等資質向上研修　校外研修報告書

学校名　　養護教諭氏名

講義名 講師名	「　　」 （　　）
日　時	令和　年　月　日　曜日 時　分～　時　分
研修場所	

感想、実践したこと・今後の取組

【感想】

【実践したこと・今後の取組】

講義名 講師名	「　　」 （　　）
日　時	令和　年　月　日　曜日 時　分～　時　分
研修場所	

感想、実践したこと・今後の取組

【感想】

【実践したこと・今後の取組】

備　考・２講義を１枚にまとめること。
・オンラインまたはオンデマンド研修等の場合、【研修場所】の欄には、実際に研修を行った場所及び研修方法（オンライン研修、オンデマンド研修等）を記載すること。

※校外研修で学んだ内容が、特定課題研究や校内研修に活かせる内容である場合は、実践した内容等を、校外研修報告書の【実践したこと・今後の取組】の欄に記載しても構いません。

社会体験研修について

個々の能力・適正等に応じ、自ら課題とする内容を選択研修することにより、養護教諭の対人関係能力の向上と社会の構成員としての視野を一層広げ、実践的指導力の向上を図る。

【期日】令和5年8月2日（水）～8月4日（金）

※担当主事と事前相談の上、団体保険適用範囲期間内に限り、変更できるものとする（土・日は除く）。

【内容】企業体験、医療施設体験、保育体験等

【研修場所】研究教員が自ら選定

【手順】

（1）研修員の「受け入れ依頼文書」［社体様式1］を6月初旬までに研修先へ提出できるよう事前に打ち合わせをしておく。

(2) 同時に研修先から「受け入れ承諾書」［社体様式2］に印をもらい、6月16日必着で教育センター所長あてに提出する。

提出書類について

実施要領 p5

（様式３①）内容確認書

令和５年度　養護教諭中堅教諭等資質向上研修

（校内・校外）研修報告書の内容確認書

学校名

校長名　印

教頭名　印

養護教諭名　印

みだしのことについて、下記のとおり確認しましたので提出いたします。

チェック欄			確認事項（様式３②及び③に関すること）
校　長	教　頭	養護教諭	
□	□	□	1　所定の欄において、【学校名】【養護教諭氏名】【研修項目】【対応者】【講義名】【講師名】【日時】及び【研修場所】等、記載に誤りはないか。 ・　オンデマンド研修及び欠席による代替研修等を行った場合、実際に研修を行った日時が記載されているか。 （※研修日時は勤務日及び勤務時間内とする。） ・　オンラインまたはオンデマンド研修等の場合、【研修場所】の欄には、実際に研修を行った場所及び研修方法（オンライン研修、オンデマンド研修等）が記載されているか。
□	□	□	2　【研修内容】の欄は、要点や重要事項を中心に、簡潔に記載しているか。また、誤字脱字はないか。　※校内研修のみ
□	□	□	3　【感想、実践したこと・今後の取組】の欄は、具体的かつ丁寧に記載されているか。また、誤字脱字はないか。
□	□	□	4　【講義名】【研修内容】【感想、実践したこと・今後の取組】の各欄の内容が一致しているか。（※異なる講義の研修内容や所感等が記載されていないか。）
□	□	□	5　報告書の様式及び枚数は適切か。 ・　実施要項等を確認の上、枚数等を確認したか。 ※県立総合教育センターにおける校外研修については２講座につき１枚、教育事務所開催の研修の提出様式及び枚数等については各教育事務所の指示に従う。（特段の指示がない場合は養３③を使用する）
□	□	□	6　報告書は、研修月日順に綴られているか。

※書類は公文書として提出してください。

※義務・県立で提出先や部数が違うためご注意ください。学校保管用も１部作成し、学校で保管してください。

※今年度から校内・校外研修報告書には内容確認書（様式3①）を付すことになっています。御自身で確認し、チェック欄を記載してから、管理職にも確認してもらってください。様式3①には捺印が必要ですが、報告書には必要ありません。

様式等のダウンロードについて

http://www.edu-c.open.ed.jp/

評価について

実施要領 p6

(2) 校長は、あらかじめ評価項目や評価事項等について、研修教員に対し十分な説明を行うとともに、研修教員自身に自己評価を行わせ、それを参考として評価を行う。

(4) 評価の実施時期は、4～5月（研修前）と2月（研修後）とし、年2回を行う。

(5) 県教育庁保健体育課（義務においては教育委員会）への提出は、研修前と研修後の年2回とする（「5 提出書類」を参照）。

欠席届、延期・中断届について

●欠席の際は、所属長より、研修実施機関（教育事務所または県立総合教育センター）へ連絡を入れ、後日、速やかに各関係機関に文書を提出すること。

●研修を延期・中断する場合には、速やかに各関係機関に文書を提出すること。

※「養護教諭中堅教諭等資質向上研修の延期者及び中断者の取扱いについて」参照

留意・注意事項①

- 時間に余裕を持って行動する
- 研修では、必ず名札を着用する
- スーツ又はかりゆしウェアなど、華美にならない正装とする
- 旅行命令簿の記入を忘れず行う
- 管理者には一言かけてから参加する
- 安全運転を心がける 「飲んだら乗るな」
- 駐車場の利用について
- 教育センター前の道路は徐行運転を!!

～学校現場においても、中堅に位置し、
保健室を通して学校課題・学校保健課題が
はっきりと見えてきている先生方へ～

沖縄県の子供たちの
健やかな心と体を育むために！